

北斎、日本に帰る

『蟹尽し図』 葛飾北斎筆

Vol.09

綴プロジェクト作品  
(高精細複製品)

綴TSUZURI  
文化財未来継承プロジェクト

優れた観察眼が捉えた、北斎の蟹。

大小さまざまな蟹が百匹以上。甲羅の模様、脚やハサミ、細かな毛まで精緻に描かれる。「蟹尽し図」は葛飾北斎の優れた観察眼と描写力を堪能できる作品。当時、日本の絵師たちの間で、自然を観察し見たままを描く写生が新しい画法として広まった。北斎も絵手本や北斎漫画の中に動植物を多く描いている。この掛軸は、浜辺か港で見た、水揚げされた蟹をもとに描いたのだろう。ぼかして表現した藻の中で蟹がうごめく。生命感あふれる海底を見事に創りあげた。

北斎を世界に知らしめたアーネスト・フェノロサから、フリーア氏が購入。原本を所蔵するフリーア美術館でも人気のある作品です。近づくほど見えてくる、蟹一匹一匹の細かな描写。高精細複製品で、日本のみなさまにも北斎の類まれな自然を見る力を楽しんでいただけます。

日本の美を、人へ、

未来へ、伝えていく。



公開情報  
八月八日(土)〜九月十三日(日)、同綴プロジェクト作品を米沢市上杉博物館で公開予定。詳細は博物館ホームページでご確認ください。



詳細は、公式サイト  
でご覧いただけます。  
[global.canon/ja/tsuzuri](http://global.canon/ja/tsuzuri)

「綴プロジェクト」は、貴重な日本の文化財を高精細複製品として制作し、オリジナルの保存と複製品の公開を目的とする社会貢献活動です。今回、フリーア美術館所蔵で門外不出の葛飾北斎の肉筆画13点の複製品を制作、里帰りした作品は墨田区のすみだ北斎美術館に収蔵されます。日本では観られない貴重な作品を身近に鑑賞する機会を提供していきます。

Canon

かにづくしす  
綴プロジェクト作品 蟹尽し図 葛飾北斎筆

原本所蔵：スミソニアン協会フリーア美術館 寄贈先：墨田区(収蔵先：すみだ北斎美術館)

Facsimiles of works in the collection of the Freer Gallery of Art, Smithsonian Institution, Washington, D.C. Gift of Charles Lang Freer, F1902.254.